地域経済発展のための観光へ

～ にかほ市観光市民集会 ～

観光客が求めるのは訪問先での体験

９月24日、象潟公民館でにかほ市観光市民集会が開催され、観光関係者など市民約180人が参加し、地域経済発展のための観光のあり方が話し合われました。

ＡＮＡ総合研究所前田香保里氏は「全国の旅行者へ向けたにかほのおもてなし」と題した講演で、旅行の形態が団体から個人に変わってきていること、観光客は旅行先で地域住民との交流を求めていることなどを話しました。市の観光資源は１級品。しかし、全国の自治体が観光に力を入れるなか観光客に選ばれるためには、市民一人一人の対応がとても大切であることが確認されました

相手の身になる想像力が大切

～ にかほ市文化講演会 ～

９月28日、仁賀保勤労青少年ホームで、医師で作家の鎌田實氏による「『がんばらない』けど『あきらめない』～命を支えるということ～」と題した文化講演会が行われました。

鎌田氏は、自らの生い立ちや地域医療の先駆者としてチェルノブイリ救援活動、福島などへの支援活動を、写真や唄を交えながら紹介しました。また「相手の身になる」想像力の大切さを、ユーモア溢れる内容で語っていただき、聴衆者は笑いあり、時に涙ありと有意義な時間を過ごしている様子でした。

健康についてなどを力説する鎌田先生

自然に寄り添った手作りのくらしを

～ ベニシア・スタンリー・スミス講演会 ～

心に優しく届く、ベニシアさんの講演

10月５日、ハーブ研究家でテレビにも出演中のベニシア・スタンリー・スミスさんによる講演会が仁賀保勤労青少年ホームにて行われました。

ベニシアさんは自然食を積極的に食べてほしい、赤ちゃんが３歳になるまではお母さんは働かないでほしいなど、現代の日本人が抱える問題に対し、親身に語ってくれました。また自然に寄り添った生活に関するアドバイスや、心に優しく届くような唄を披露したりと、会場をあたたかい雰囲気にしてくれました。来場者らは、大きくうなずいたり、メモを取ったりしていました。

芭蕉の足跡に思いを馳せて

～ 第30回奥の細道象潟全国俳句大会 ～

観光案内人の説明を受けながら句を詠んだ

10月５・６日、第29回国民文化祭・あきた2014のプレイベントとして「第30回奥の細道象潟全国俳句大会」が行われました。初日は吟行句会が行われ、蚶満寺周辺を観光案内人の説明を受け散策し、景色や歴史に思いを馳せ即詠。２日目は表彰式が行われ、応募のあった５,442句の中から部門ごとに優秀作品が選ばれました。

【表彰された市民の作品】

◆鳥海山の風にも馴れて夏燕（宮本秀峰／畑）
◆親ツバメ休日なしの宅急便（阿部大輝／金浦中２年）
◆夏休み退屈そうなランドセル（土田瑠夢／上郷小６年）

本荘由利中学校秋季体育大会

【優勝】
・男子剣道団体（仁賀保中）
・女子ソフトテニス団体（仁賀保中）
・男子ソフトテニス個人
（佐藤真生・伊藤奨／仁賀保中）

▶ 仁賀保中剣道部

◀仁賀保中女子テニス部

【準優勝】
・男子バスケットボール（仁賀保中）
・女子剣道団体（仁賀保中）
・男子ソフトテニス個人
（山内健史・佐々木大輔／仁賀保中）
・男子剣道個人（伊藤トミオ／仁賀保中）

【3位】
・女子ソフトボール（象潟中）
・サッカー（象潟中）
・女子剣道団体（象潟中）
・女子バレーボール（象潟中）
・男子ソフトテニス団体（象潟中）
・男子ソフトテニス個人
（佐々木祐哉・齋藤晃平／象潟中）

秋田県卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会秋田県予選会

【シックスティの部】
第3位　佐々木　平和（妙見町）
【セブンティ以上の部】
第2位　齊藤　正志（下荒屋）

秋田県中学校英語暗唱・弁論大会

弁論の部
【優勝】坂本　海生さん（象潟中３年）
演題「見えない支え」